

埼玉県総合医局機構 ～Kobaton.med～ の概要



埼玉県のマスコット
「コバトン」

～Kobaton.med～



埼玉県総合医局機構

埼玉県

埼玉県医師会

医師の確保・派遣

埼玉県立大学

知事あいさつ



急速な高齢化に伴い、本県の医療需要は、更なる増加が見込まれており、医師の確保が県の最重要課題の一つとなっています。

本県では、埼玉県医師会や県内医療機関、大学などと協力して、平成25年に埼玉県総合医局機構を創設し、医師の確保や医師への支援などを通じ、県内全域の医療水準の向上に取り組んでいます。これは他の都道府県にはない先駆的な取組です。

ここでは、医師や医師を目指す方々に対する有益な情報の発信や各種の相談に集中的に対応しています。また、医学生に貸与した奨学金について、一定要件を満たす場合には返還を免除することで、県内で働く勤務医の経済的負担の軽減を図るとともに、医師のキャリア形成に精通したコーディネーターを設置するなど、キャリア形成を支援しております。さらに、シミュレーター機器等を用いた無料の教育施設の運用や海外留学を支援することで、医師のスキルアップをサポートいたします。

このほか、医師の働き方改革に対応するため、医療勤務環境改善支援センターの運営や女性医師の復職支援などにより、医師の負担軽減を図るとともに、地域医療体制を維持するため、医師が不足している病院や地域へ医師を派遣しています。

これらの取組により、平成30年までの10年間の医師増加数は2,489人で全国第4位、増加率は25.0%で全国第1位となっています。

埼玉県総合医局機構では、県内で働く医師の方々を全面的にバックアップしてまいりますので、是非とも御活用ください。

県民の誰もが安心できる医療を提供するためには、何よりも現場を支える医師の力が不可欠です。一緒に働いていただける医師の皆さんを心からお待ちしています。

埼玉県知事 大野 元裕

医師の支援

県内医科大学

関係団体

県内医療機関

● センター長あいさつ



医師不足と言われて久しく、各方面で対応策が講じられてきましたが、思うような成果が得られていません。しかし、機能的かつ有機的システムを構築する事により、医師不足を解消する事ができるのではないかと考え、検討した結果可能であるとの結論に達しました。

そのシステムとして埼玉県では、かつて大学医局が行っていた継続的医師派遣等の優れた機能を有する埼玉県総合医局機構を立ち上げました。

機構には、医師会、県内医療機関、大学などから多くの医療関係者の皆さまに参画していただき、医師確保等の対策に取り組んでいます。

令和元年度からは、医師の海外留学支援制度を創設しました。埼玉の地域医療を担う医師が、海外で習得した最先端の知識・技術を県内医療に還元し、若手医師を牽引していくことが期待されます。

このほかにも、埼玉で働いて良かった、埼玉で働いてみたいと思われる魅力ある医療環境の県にするため、シミュレーター機器等を用いた無料の研修施設の運営、医師の負担軽減支援、指導医の派遣、キャリア形成の支援、女性医師の勤務環境整備や復職支援など様々な取組で機構がサポートいたします。

埼玉県総合医局機構への御支援、御協力をお願いするとともに、皆様の参加をお待ちしております。

埼玉県総合医局機構
センター長 金井忠男

● 埼玉県総合医局機構について

埼玉県総合医局機構は、医師の確保や医師の地域偏在・診療科偏在の解消などに取り組むコントロールタワーとして、医師確保対策を一元的に実施します。

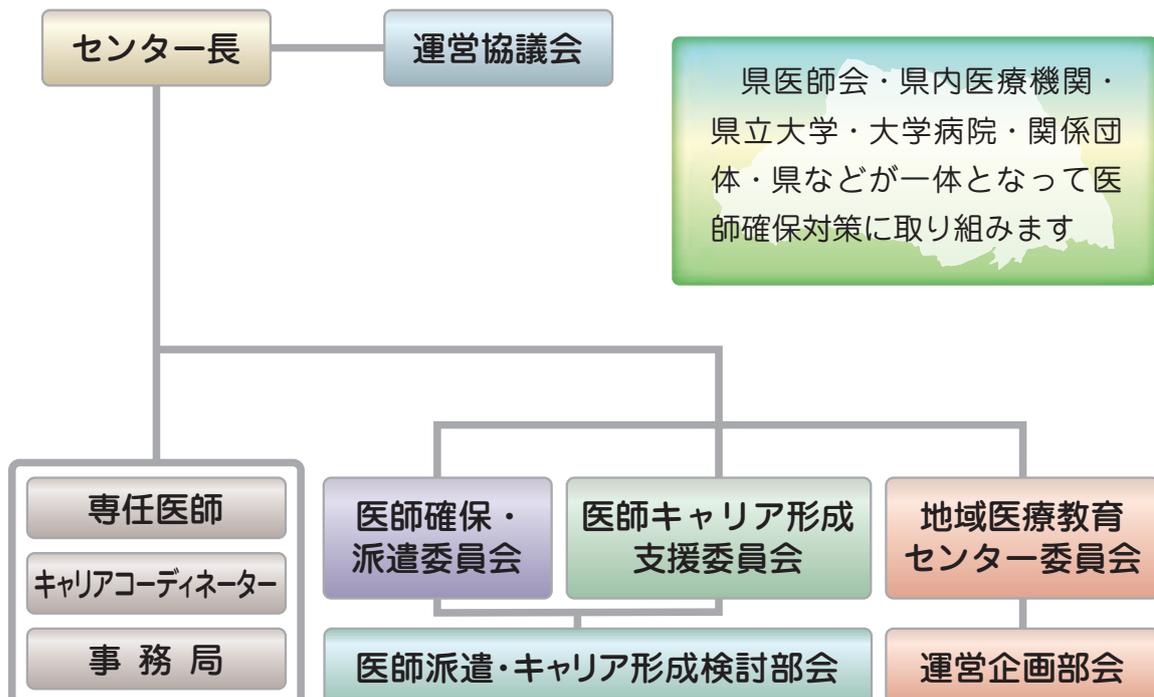
また、医療法第30条の23に基づく地域医療対策協議会に位置付けられています。

平成25年12月 埼玉県総合医局機構 創設



- 医師不足状況の把握・分析
- 医師確保に係る総合的な企画
- 医師不足病院への支援
- 医師のキャリア形成支援
- 地域医療関係機関との協力関係の構築
- 医師確保に関係する情報発信と、医師や医師を目指す方々からの相談への対応

● 埼玉県総合医局機構の組織



● 埼玉県総合医局機構の主な取組

○ 医師の確保・派遣

医学生への奨学金貸与

埼玉県内や県外の大学医学部に通う医学生に対して、奨学金を貸与しています。一定の要件に該当する方は返還が免除となります。
→詳しくは5・6ページで

臨床研修医・後期研修医への研修資金貸与

埼玉県内で臨床研修を受ける研修医の方や、後期研修を受ける研修医の方に研修資金を貸与しています。一定の要件に該当する方は返還が免除となります。
→詳しくは6ページで

高校生の志養成事業・交流会・病院見学会の開催

臨床研修医、医学生、将来医師を志す高校生を対象とした交流会や病院見学会を開催し、人的ネットワーク形成や県内病院の魅力PRを図っています。
→詳しくは9ページで

医師バンク（医師無料職業紹介事業）

医師の方に埼玉県総合医局機構の医師バンクに登録して頂き、県内の医師不足病院に紹介していただきます。
→詳しくは7ページで

ベテラン指導医の紹介

ベテラン医師の方に埼玉県総合医局機構に登録して頂き、指導医として県内の病院に紹介していただきます。
→詳しくは9ページで

地域枠医師など県内勤務が義務付けられる医師の派遣調整

○ 医師の支援

医師の海外留学支援

海外で最先端の知識・技術を習得しようとする医師の方に対して留学に要する費用を助成しています。
→詳しくは7ページで

医師のキャリア形成支援

奨学金貸与者へのキャリア形成プログラムの策定や医師のキャリア形成に精通したキャリアコーディネーターを設置し、医師のキャリア形成を支援します。
→詳しくは8ページで

女性医師等の復職支援事業の概要

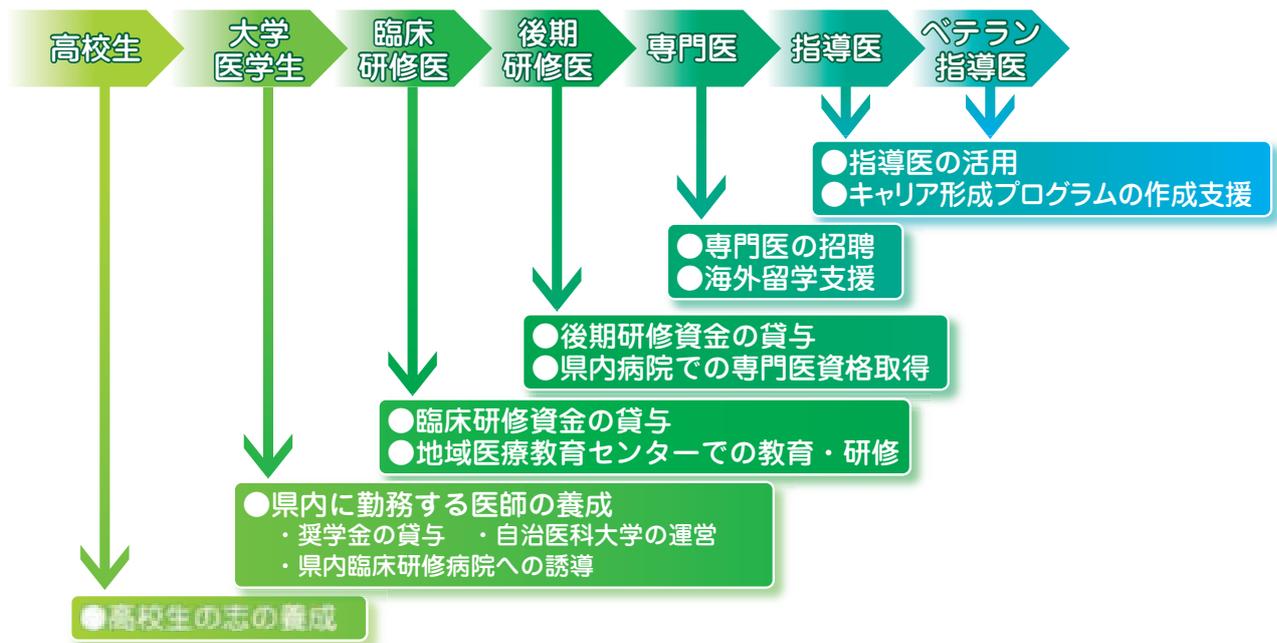
埼玉県女性医師支援センターを運営し、女性医師等が産休や育休から復職する際の相談等に対応しています。また、短時間勤務等のために代替職員の雇用・配置を行った病院に経費を助成しています。
→詳しくは8ページで

地域医療教育センター

各種シミュレーター機器による様々な専門研修の実施が可能です。

→詳しくは10ページで

● キャリアステージごとの医師確保事業



● 埼玉県医師育成奨学金（出身者奨学金）貸与制度の概要

	医学部入学希望者	
貸与資格	次の①から③のすべての条件を満たす者 ①本人若しくは親が県内に住所を有する者又は県内の高等学校等を卒業（修了）する見込みである者若しくは卒業（修了）した者 ②県外の大学の医学を履修する課程に入学する意思を有する者 ③特定地域の公的医療機関又は特定診療科等に医師として勤務する意思を有する者	
貸与金額	入学金 100万円以内	月額 20万円以内
貸与期間	大学卒業までの期間（上限6年）	
選考時期	入学前選考（書面・面接）	
募集人数	15名	
返還免除要件	奨学金貸与期間の1.5倍の期間、特定地域の公的医療機関又は特定診療科等に医師として勤務したとき。	

※令和2年度募集事例。詳しくは埼玉県総合医局機構までお問い合わせください。



※特定地域：県が特に医師が不足していると定める秩父医療圏、北部医療圏、利根医療圏、川越比企（北）医療圏

※特定診療科等：県内の病院の小児科、産科、救命救急センター

● 埼玉県地域枠医学生奨学金（指定大学奨学金）貸与制度の概要

指定大学	埼玉医科大学	順天堂大学	日本医科大学
貸与資格	各大学医学部に設けられた埼玉県地域枠に選抜された学生		
貸与金額	月額20万円		
貸与期間	大学卒業までの期間（上限6年）		
選考時期	入学前（入学試験）		
募集人数	19名	7名	4名
返還免除要件	奨学金の貸与期間の1.5倍の期間、県及び埼玉医科大学が協議して指定する医療機関に医師として勤務したとき。	奨学金の貸与期間の1.5倍の期間、特定地域の公的医療機関又は特定診療科等に医師として勤務したとき。	

※令和2年度募集事例。詳しくは埼玉県総合医局機構までお問い合わせください。

● 埼玉県臨床研修医研修資金貸与制度の概要

貸与資格	県内の臨床研修病院の臨床研修医で、研修終了後、県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで医師として勤務する意思のある方
貸与金額	月額10万円以内
貸与期間	研修期間（2年）以内
募集人数	4人
返還免除要件	研修終了後、県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターの医師として貸与期間の1.5倍に相当する期間、勤務したとき。

※令和2年度募集事例。詳しくは埼玉県総合医局機構までお問い合わせください。

● 埼玉県後期研修医研修資金貸与制度の概要

貸与資格	県内の周産期母子医療センター又は救命救急センターの後期研修医で、研修終了後、県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで医師として勤務する意思のある方
貸与金額	月額20万円以内
貸与期間	研修期間（3年）以内
募集人数	10人
返還免除要件	研修終了後、県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターの医師として貸与期間の1.5倍に相当する期間、勤務したとき。

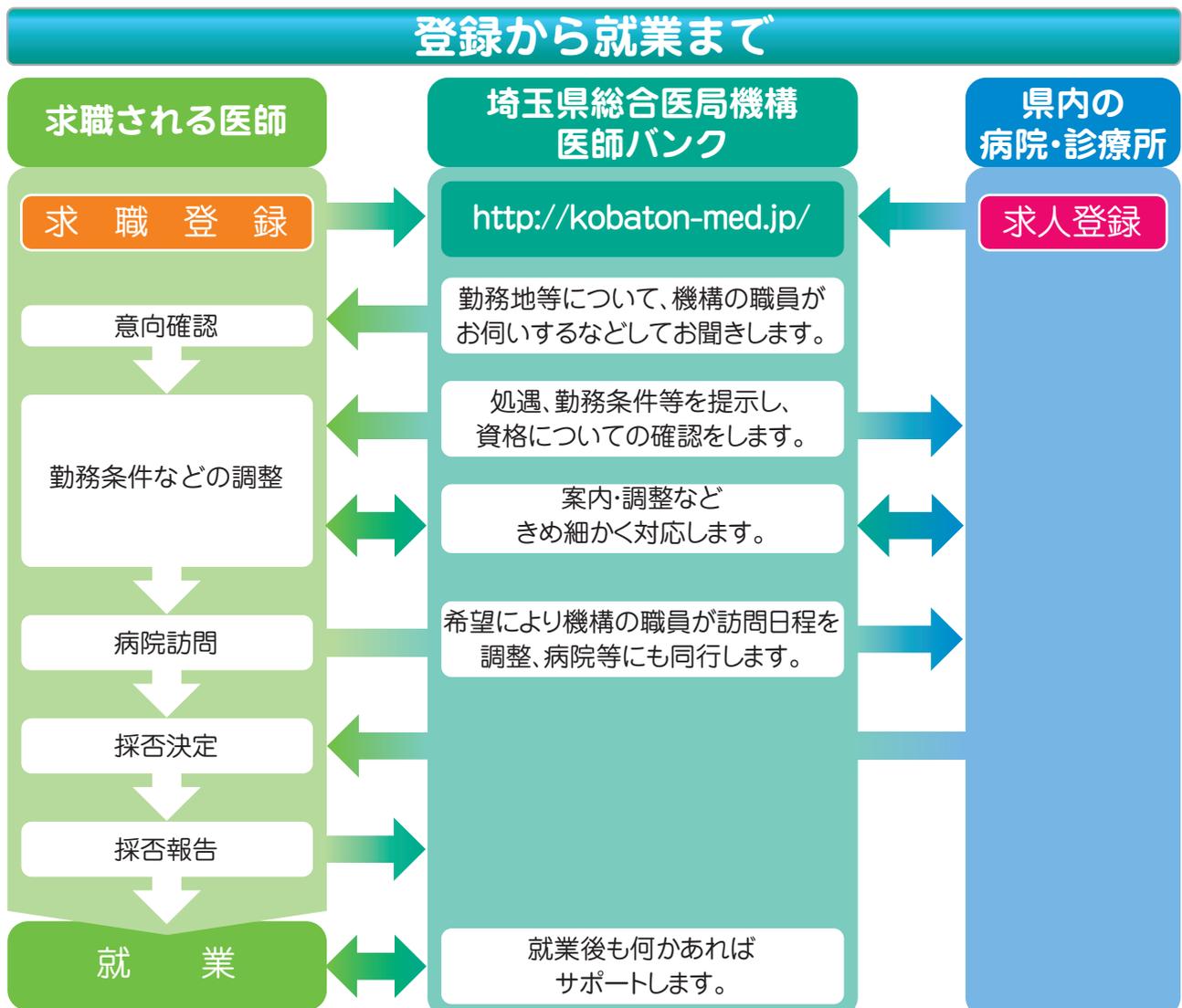
※令和2年度募集事例。詳しくは埼玉県総合医局機構までお問い合わせください。

● 医師向け海外留学支援事業

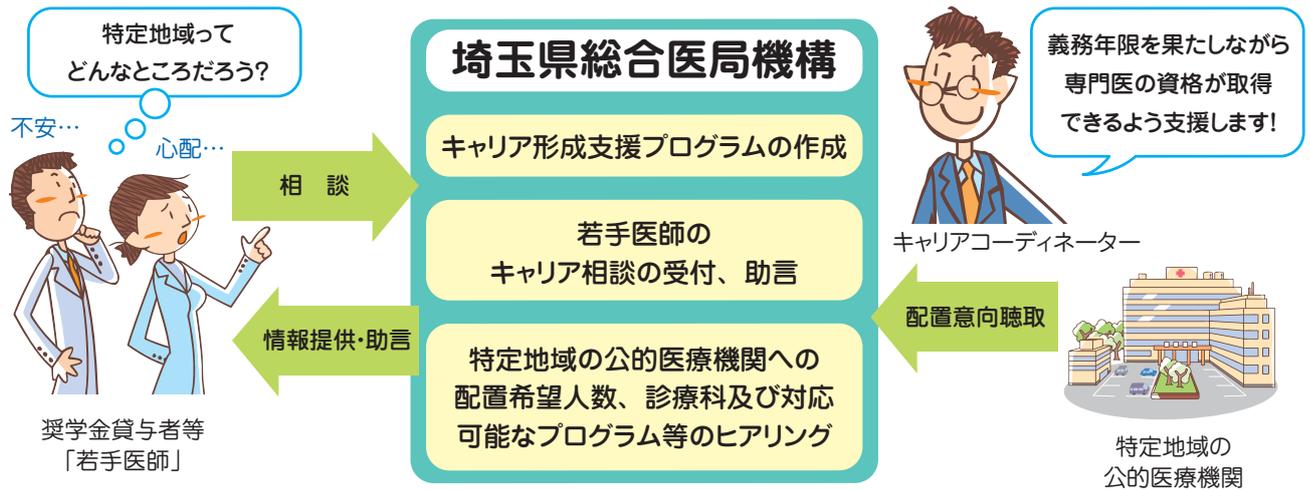
対象者	以下の全ての条件を満たす医師 ①臨床研修病院または専門研修基幹施設に勤務する者 ②専門医資格取得者 ③県内の地域医療に貢献する意欲のある者 ④留学後に引き続き、留学期間の3倍の期間、埼玉県内の医療機関で勤務できる者
補助金額	最大1年・300万円
補助内容	小児科、産科、救急、総合診療等の診療科における臨床又は臨床に関する研修のための留学(以下の2コースから選択)に対し、渡航費及び研修・滞在費を補助 ①留学先自由選択コース…自身で海外医療機関と調整の上留学先を決定して応募 ②留学先斡旋コース…県が指定するオーストラリアの病院(Princess Alexandra Hospital, Queensland Children's Hospital)の留学を希望する者が応募

※令和2年度募集例。詳しくは埼玉県総合医局機構までお問い合わせください。

● 埼玉県総合医局機構 医師バンク事業の概要



● 医師のキャリア形成支援



● 女性医師の復職支援

埼玉県総合医局機構では、女性医師の支援として次の事業を行っています。

① 埼玉県女性医師支援センターの運営

埼玉県女性医師支援センター

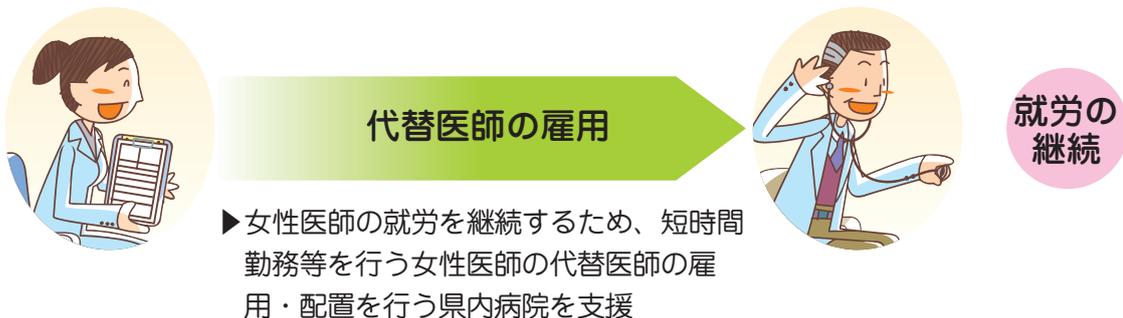
就業や復職に関する相談、育児や介護支援の情報提供など女性医師の相談・支援窓口として、「埼玉県女性医師支援センター」を運営しております。

ご相談の内容やご希望に応じて、子育て経験のある現役の女性医師が、Eメールや電話などでお答えします。お気軽にご連絡ください。

〒330-0062
さいたま市浦和区仲町 3-5-1 埼玉県県民健康センター 5 階(埼玉県医師会内)
電話 048-815-7115 AM9:00~PM5:00 (月曜日から金曜日)
※土日、祝日、年末年始を除く
メール info@saitama-joi.jp

埼玉県 女性医師 検索

② 代替医師の雇用



● 高校生の志養成事業・埼玉県総合医局機構交流会・病院見学会の開催

① 高校生向け

医師を目指す高校生の志を養成するため、模擬医療体験、医師との懇談会や病院施設見学などを実施しています。



病院施設見学



模擬医療体験

② 医学生・臨床研修医向け

医学生や臨床研修医向けの「埼玉県総合医局機構交流会」や医学生向け病院見学会を開催し、県内医療関係者との交流の機会を提供するとともに、県内で勤務する魅力を発信しています。



埼玉県総合医局機構交流会



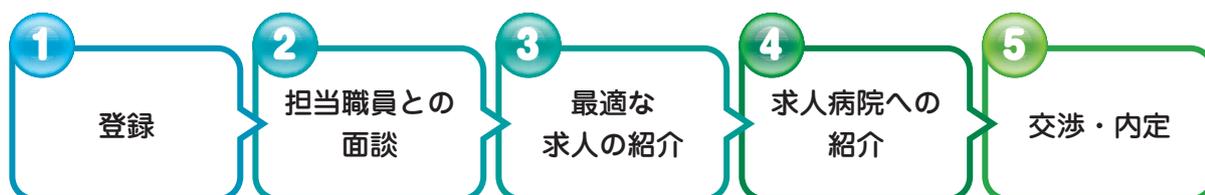
埼玉県総合医局機構交流会



病院見学会

● ベテラン指導医紹介事業

病院の現場で指導を行うことができるベテラン医師を、指導医の受け入れを希望する病院に紹介しています。



● 地域医療教育センター ～県内の医師のスキルアップをサポートします～

地域医療教育センター（以下、「センター」という。）は、県内医療機関に勤務されている医療従事者の方向けの教育・研修施設です。

各種シミュレーターを用い、実際の病室を模した仮想病室や診察室で、実際の診療さながらの研修を行うことができます。また、センターでは県内医療従事者のスキルアップを目的として、各種研修会も開催しています。

① 利用可能な研修

県内医療機関に勤務する医療従事者、医学生等向けに実施する研修

② 利用可能な施設

講義・ディブリーフィング室、研修室、カンファレンス室、シミュレーター訓練室（仮想病室、診察室）



仮想病室

③ 利用可能なシミュレーター

- ・高規格シミュレーター（SimMan3G, SimJunior, SimBaby等）
 - ・フィジカルアセスメントモデル（フィジコ） ・呼吸音聴診シミュレーター（ラングⅡ）
 - ・気管支・消化器内視鏡シミュレーター（アキュタッチ） ・超音波画像診断装置 など
- あらゆる研修に対応できるように、様々なシミュレーター・医療機器を整備しています。

④ 利用時間 ※12月29日～1月3日は休業日

平日 午前9時～午後9時
土曜日・日曜日・祝日 午前9時～午後5時



Sim Man3G



アキュタッチ

⑤ 利用料

原則として「無料」 ※消耗品については、研修主催者をご用意ください。

⑥ その他

利用申請書のダウンロードや利用可能な機器、利用上の注意事項、利用予約状況の確認には、埼玉県総合医局機構のホームページをご利用ください。

- ・埼玉県総合医局機構ホームページ (<http://kobaton-med.jp/>)

センターで開催する研修会

医療手技ハンズオンセミナー

超音波検査、CV穿刺、内視鏡など様々な手技のハンズオンセミナーを定期的に開催しています。



日本救急医学会 ICLS 日本内科学会 JMECC

各学会認定ディレクターによるコースを定期的に開催しています。



産科・小児科・救急科の 魅力を学ぶ研修

特に医師が不足している産科・小児科・救急科について、各分野の第一線で活躍している医師を講師に招き、各科の魅力を伝えていただきます。



その他のセンター主催研修

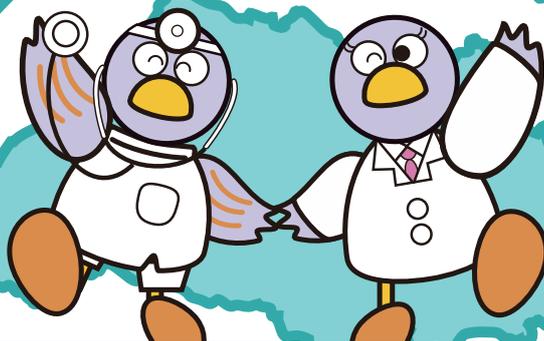
- ・急変患者対応シミュレーション研修
- ・小児救命処置研修（PEAR S）
- ・1次救命処置研修（BLS）
- ・小児2次救命処置研修（PAL S）
- ・在宅医療研修
- ・母体救命研修（J-CIMEL S）
- ・医療安全研修（チームSTEP P S）

埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター

所在地：さいたま市中央区新都心1-2 県立小児医療センター南玄関8階
TEL：048-601-4600



埼玉県総合医局機構



KOBATON.med コバトンドットメド

operated by 埼玉県総合医局機構

Kobaton.med (コバトンドットメド) は
埼玉県総合医局機構の愛称です。

埼玉県総合医局機構 事務局:埼玉県保健医療部医療人材課 医師確保対策担当

所在地:〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2
(埼玉県立小児医療センター南玄関8階)

電話番号:048-601-4600

ファックス番号:048-601-4604

メールアドレス:a3560-02@pref.saitama.lg.jp

ホームページアドレス:

埼玉県総合医局機構 <http://kobaton-med.jp/>

埼玉県医療人材課 <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0709/>

令和2年4月1日発行